ステアリングリモコンアダプター
(メルセデスベンツ正規輸入車 三菱電機製地上デジタルチューナー[TU300D]専用)
STD442 取付/取扱説明書

本製品は、メルセデスベンツ純正地上デジタルチューナー[TU300D](三菱電機製)のチャンネルをステアリングスイッチで操作するための製品です。

このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- ●この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。
- ●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご相談窓口

お電話 086-445-1617 #+2 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:30
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)
※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねます。

メールでのお問い合わせ(PC)
http://www.datasystem.co.jp/support/mail/

メールでのお問い合わせ(スマートフォン)
http://www.datasystem.co.jp/sp/support/
Data System 株式会社 データシステム
http://www.datasystem.co.jp/
■[本 社]東京都新宿区新宿1-18-2　■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11

STD442-150318-YUM

保証について

- ●付属の保証書に必要事項をすべてご記入ください。特に、販売店印およびご購入日の記入がない場合、保証書は無効となります。
- ●保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。

※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります。
※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
※保証規定は保証書をご参照ください。
※保証書は如何なる理由があっても再発行いたしません。 あらかじめご了承ください。
※本体に貼付されている封印シールははがさないでください。 はがすと保証期間に関わらず、保証対象外となります。

保守部品の保有年数について

この製品は、補修用部品の入手性、修理後の性能保証の観点から修理対応期間(保守部品の保有年数)を製造打ち切り後、8年間に設定しています。
※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間(保守部品の保有年数)を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

内容物一覧

■STD442本体 ×1
■リモコン送信部 ×1

■エレクトロタップ ×2
■エアコン吹出口取り外し用工具 ×2

■スコッチロック(青) ×1
■リモコン送信部台座 ×1

■コードクリップ ×1

■取付/取扱説明書(本書) ×1

■両面テープ ×1

■保証書&ユーザー登録カード ×1

■結束バンド

仕様

動作温度	0℃～60℃(結露なきこと)
本体寸法	W50×H21×D56mm(突起部除く)
本体重量	約115g
ケーブル長	3m(リモコン送信部)

注意事項の定義について

本書では注意事項の定義を次のように示しています。

危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
警告	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの
注意	守らないと、車両および製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいもの

本書には取り付け/取り外し作業中の事故、 または不適切な作業による車両損傷などにより、安全と信頼性が損なわれないよう守るべき項目を記載しています。ただし、これらの表記は起こり得るあらゆる現象に関してすべて記載することはできないため、これらの記載事項さえ守れば良いという絶対的なものではないことをあらかじめご承知おきください。

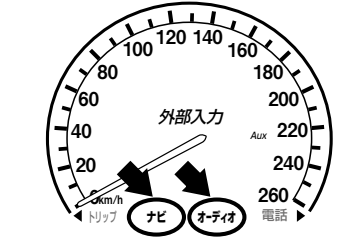
使用上の注意(必ずお読みください)

注意
●本製品を使用、操作した事によって発生した、人身・物損事故の責任・補償は一切負いません。

使用方法

1. メーター内の機能表示を「**ナビ**」または「**オーディオ**」に合わせます。

Sクラスメーター表示例
オーディオ選択時
2. ステアリングスイッチ(マルチファンクションコントローラー)の「▲」ボタンと「▼」ボタンで放送のチャンネル番号を操作できます。

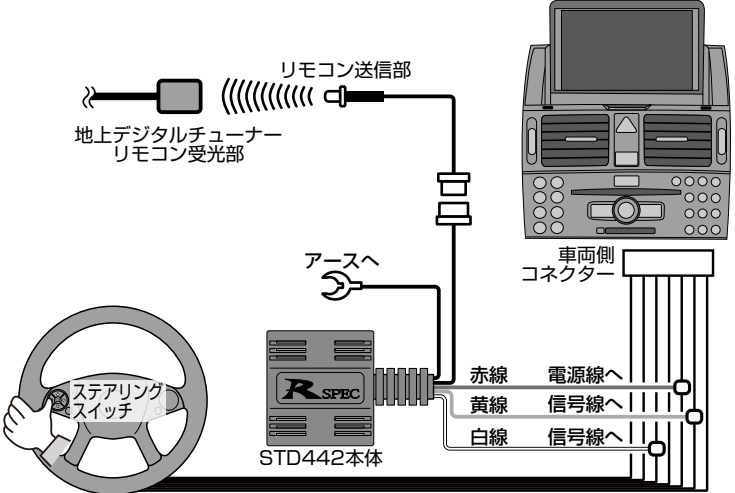
押す度に放送のチャンネル番号を操作できます。

- ●ステアリングスイッチで地上デジタルチューナーのチャンネル操作をおこなうときは、メーター内の機能表示を「ナビ」または「オーディオ」にしてください。
- ●コマンダー、テンキーの操作で地上デジタルチューナーのチャンネル操作はできません。

取り付け上の注意(必ずお読みください)

危険
- ●取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。
  ※バッテリーマイナス端子を外す前に、消えると困るラジオのメモリー内容などをメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。詳しくは機器の取扱説明書をご参照ください。

注意
- ●本製品はメルセデスベンツ正規輸入車に、純正地上デジタルチューナー[TU300D](三菱電機製)を取り付けた車両専用です。
- ●ユニット内のカセット、音楽ディスク、地図ディスクなど、すべてイジェクトしてから、脱着作業をおこなってください。
- ●コネクターを外すときは、抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクターを無理に引っ張ると、ユニット内の基板が破損する恐れがあります。
- ●コネクターを接続するときは、奥まで(カチッと音がするまで)確実に差し込んでください。
- ●配線部分を強く引っぱらないでください。断線や接触不良の原因となります。
- ●リモコン送信部の熱収縮チューブ部分は、無理な力をかけて曲げないでください。故障の原因となります。
- ●両面テープなどで本製品を車両にしっかりと固定してください。固定しないとコネクターの接触不良、配線の断線の恐れがあります。
- ●必要に応じて配線部を固定してください。固定しないとコネクターの接触不良や、配線が断線する原因となります。また、使用中にケーブル類が引っ張られ本体から外れないようケーブルの取り回しにもご注意ください。
- ●車両および本製品の配線を傷つけたり、本体を変形させたりしないでください。
- ●本製品を取り付ける際は、ハーネス、ユニット、配線などがシートレールやペダルに噛み込まれたり、挟まれる可能性のある場所には絶対に設置しないでください。製品の破損やハーネス断線の恐れがあります。
- ●直射日光が当たる場所や、ヒーターの温風が直接当たる場所、高温・多湿になる場所に本体を設置しないでください。故障や誤動作・ノイズ発生などの原因になります。
- ●製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取扱い業者でおこなってください。

重要
- ●適合外の車両へ取り付けて発生したクレーム、事故、故障などに関しての責任は弊社では一切負いません。
- ●本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。
- ●リモコン送信部とナビユニット、オーディオユニットのリモコン受光部の間には遮蔽物がないように取り付けてください。
- ●リモコン送信部は、ナビユニット、オーディオユニットの受光部の正面になるべく向くように取り付けてください。
- ●「リモコン送信部」「本体」を固定、収納する前に、動作確認をおこなってください。

接続概要図

エレクトロタップの使い方

接続状況を確認してください。接続が不完全の場合、動作不良の原因となります。

1. 接続される車両側配線にエレクトロタップを合わせる

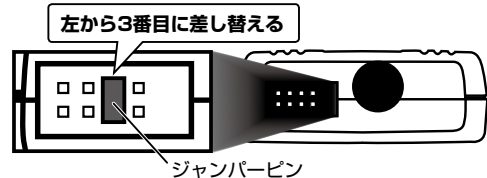
2. エレクトロタップのカバーをしっかりと閉じる

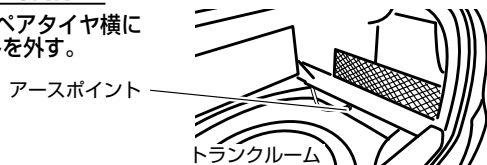
3. 接続する配線をエレクトロタップのストッパーに当たるまで差し込む

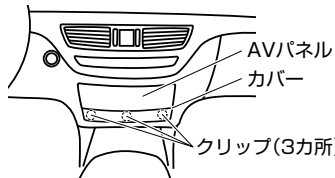
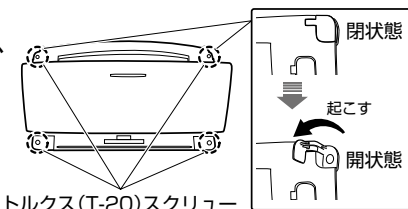
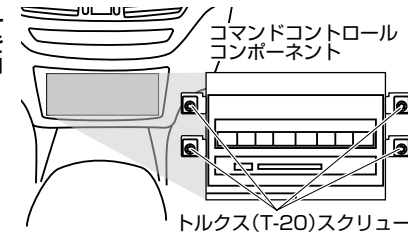
4. エレクトロタップの接続用カバーをツメのロックがかかるまでしっかりと閉じる

取り付け方法(Sクラス【W221 H22年～】)

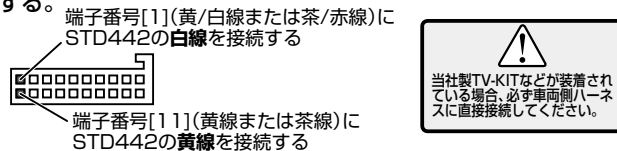
⚠ 本製品取り付け前に、地上デジタルチューナーのリモコンでチューナーが正常に動作していることを確認してください。

1. STD442本体のジャンパーピンを左から3番目(下図参照)に差し替える。

3. 車からイグニッションキーを抜き、全てのドア/ボンネット/トランクを開け、そのままの状態で状態で、**5分間待つ。**

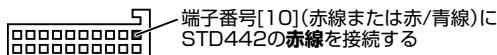
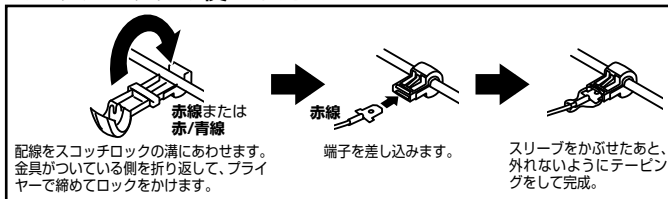
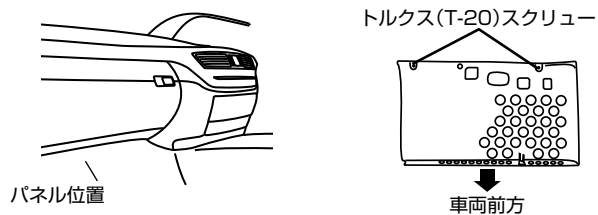
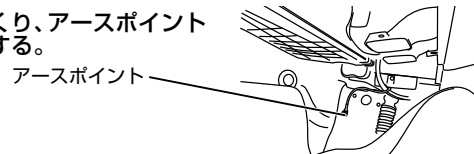
4. トランクルームのスペアタイヤ横にある、アースポイントを外す。

5. エンジンルーム内にあるバッテリーのマイナス端子を外す。

6. センターコンソールのAVパネル下にあるカバーを手前に引いて取り外す。

7. AVパネル上部のフタ(2カ所)を開け、スクリュー(4カ所)を外し、AVパネルを取り外す。

8. コマンドコントロールコンポーネントのスクリュー(4カ所)を外し、コマンドコントロールコンポーネントを取り外す。

ワンポイント スクリューは抜け止めが付いていて、コマンドコントロールコンポーネントから取り外せません。

9. コマンドコントロールコンポーネントの裏側、20ピンのコネクター横のロックを上に上げて解除し、コネクターカバーを外す。

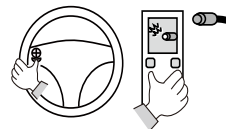
10. 20ピンのコネクターにSTD442の信号線をエレクトロタップで接続する。

⚠ 当社製TV-KITなどが装着されている場合、必ず車両側ハーネスに直接接続してください。

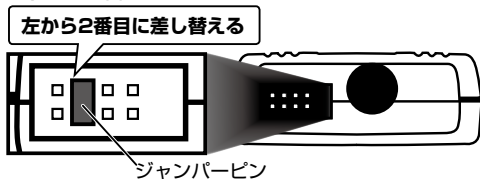
ワンポイント コネクターの端子位置は右図の矢印の方向からコネクターを見た図です

11. 20ピンのコネクターにSTD442の電源線をスコッチロックで接続する。

スコッチロックの使いかた

12. グローブボックス下のパネルを取り外す。

13. カーペットをめくり、アースポイントに黒線を共締めする。

14. STD442本体から出ている2極コネクタと、リモコン送信部の2極コネクタを接続する。
リモコン送信部は、地デジチューナーのリモコン受光部に向け、受光部の近くに仮止めする。

15. バッテリーのマイナス端子、 トランクルームのアースポイントを接続し、メーター内の機能表示を「ナビ」または「オーディオ」にしてから、ステアリングスイッチで地デジチューナーのチャンネルが操作できることを確認する。

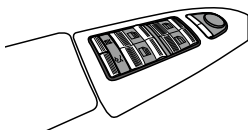
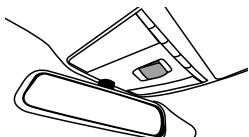
●チャンネル操作ができない場合……項目「**16.**」へ
●チャンネル操作ができる場合………項目「**17.**」へ

16. (チャンネル操作ができない場合)
1.リモコン送信部の発光を確認する。
デジタルカメラや携帯電話のカメラ機能で送信部LEDの状態を確認できます。カメラを送信部に向け、 ステアリングスイッチのチャンネルを操作してください。
点滅していない場合はSTD442本体、リモコン送信部の配線を確認してください。

2.リモコン送信部の向きを確認する。

3.ジャンパーピンの位置を変更する。
イグニッションキーを抜いた状態で、ジャンパーピンを左から2番目(下図参照)に差し替えます。

4.STD442の電源線(赤線)を挿し直す。
スコッチロックからSTD442の電源線(赤線)を外してから差し込み直し、もう一度ステアリングスイッチで地デジチューナーのチャンネルが操作できるか確認してください。

17. STD442本体とリモコン送信部を車両に取り付ける。
※リモコン送信部は直射日光が当たらない場所に設置してください。

18. モニターやチューナー、パネル、内装類を元に戻す。

19. オートパワーウィンドウの設定をする(全ドア)。
1. パワーウィンドウスイッチを開方向へ押し、全開状態になってから、さらに**3秒以上**押し続ける。
2. パワーウィンドウスイッチを閉方向へ押し、全閉状態になってから、さらに**3秒以上**押し続ける。
3. パワーウィンドウがオートで全開/全閉になるか確認する。

20. サンルーフの設定をする。
1. サンルーフスイッチを開方向へ押し、 全開状態になってから、さらに**3秒以上**押し続ける。
2. サンルーフスイッチを閉方向へ押し、 全閉状態になってから、さらに**3秒以上**押し続ける。
3. サンルーフがオートで全開/全閉になるか確認する。

21. パワーシート、オーディオの各設定を戻して作業完了。